

JEANS & CASUAL READER 2016SS
■ 大手カジュアル専門店の動向 (1)

※敬称略、順不同
 2016.2.現在

[1] コックス

最近決算年商	216.9億円
同営業利益	0.3億円
(次期予想) 16年2月	
売上	221億円
営業利益	△0.7億円
店舗数	260店舗
	2015年8月

退店減収も、既存店とeコマース努力で黒字回復へ
 新業態「イッカラウンジ」(セレクト感性)も効果発揮中。

- 雑貨とeコマース(4億)売り上げ合計ではすでに全体の42%までに。特にWEB「ソソタウン」とはオムニチャネル購買を推進。
- 中国事業(卸中心)は次年度黒字転換期待。
- 出店はイッカラウンジ、LBC、VENGE中心に郊外から都市圏へ。
- 30歳代以上男女ターゲット、動物ペット関連にも着目。
- 市場は好感して株価は昨年比1.6倍に。

[2] ジーンズメイト

最近決算年商	99億円
同営業利益	0.3億円
(次期予想) 16年2月	
売上	92億円
営業利益	△6.7億円
店舗数	96店舗
	2015年8月

“PB比率向上で粗利益率向上努力”
 販売減で営業利益赤字、店舗減損の特損も

- PBは「ブルースタダード」、「イノセントブルー」など3ブランド
 PB比率現状約20%を30%に伸ばすもくろみ。
- 夏場の機能(涼感など)ジーンズは好調推移実績。
- インバウンド購買狙う「免税店」は4店舗から10店舗へ。
- 専門学校とコラボのTシャツ企画で集客集めの話題も。
- 社長交代 冨澤 茂氏へ(10月) 西脇 昌司氏は会長職へ

[3] マックハウス

最近決算年商	359.5億円
同営業利益	2億円
(次期予想) 16年2月	
売上	350億円
営業利益	6億円
店舗数	462店舗
	2015年8月

生活雑貨の拡充で突破口探る
 インナーレグ、レインウエアなど「実需系」商品にも
 パワー発揮。

- 約6割の300店がウエア中心から脱却「ライフスタイル」ショップへ。
- テーラードジャケットを含む大型総合業態にも意欲、接客による重衣料系のコーディネート推奨作戦も。
- 大型店「マックハウス・スーパーストア」
 埼玉大井、愛知蒲郡の集客に話題。
- 引き続きPB「NAVY」の単一ブランド業態を発展させる。

[4] ライトオン

最近決算年商	782億円
同営業利益	23.1億円
(次期計画) 16年8月	
売上	820億円
経常利益	30億円
店舗数	516店舗
	2015年8月

来期(16/2)は一部店舗スクラップも商材パワーと
 既存店アップで強気の増販、増益で復活へ

- NBブランド(EDWIN、LEVI'S®など)を継続して強化。
- 出店はライトオン中心、他業態は鎮静。
- (ポイント)会員は130万人突破し、順調。
- 「O20」施策、オンラインtoオフライン、店舗とネット(モバイル)相互の回遊性を高める施策を発展させる方向へ。
- 休止していたTVCMを再開。

[5] ファーストリテイリング (海外含む)

(全世界ベース2014年8月)	
年商	1兆6,817億円
同営業利益	1,644億円
(その内国内ユニクロ)	
年商	7,801億円
営業利益	1,172億円
店舗数	841店
	2015年8月

中国、韓国などアジア「ユニクロ」は絶好調
 米国ユニクロは赤字未解決、国内ユニクロは次期4%アップ。
 ユニクロ業態の海外売上比率は約44%、さらに上昇へ。

- 次期(16年8月決算予想)
 全事業 売上1兆9,000億円、営業利益2,000億円へ。
 国内ユニクロは約8,110億円を予想。
- 「GU」業態は1,415億と国内ユニクロの約2割規模まで拡大した。
- グローバルブランドの「Jブランド」は不振。
- CSR(社会的責任)活動で難民救済支援活動をPR。

【6】しまむら

最近決算年商 5,118億円
同営業利益 368億円

(次期予想) 16年2月
売上 5,448億円
営業利益 405億円
店舗数 1,960店舗
2015年8月

“2000店舗突破で変革も”のスローガン打ち出す。
都市部への出店加速の方針も

- 業務標準化などで利益効率高める努力。
- 主力のしまむら業態(1345店)はMD仕入を月単位から週単位計画に改め商品鮮度向上、ロス削減へ。
- 海外店舗の台湾(39店、約26億)、上海(14店、約3億)は新設店舗、売り上げともに微増ペース維持。

【7】ハニーズ

最近決算年商 601億円
同営業利益 23億円
16年2月予想
売上 615億円
営業利益 26億円
店舗数 840店舗(国内)
海外店舗含むと1,360店舗
2015/9現在

今期前半(11月まで)売上は全店98.8%、
中国91.3%にとどまる。

- 中国は赤字になったが、出店、単価見直しで回復期待。
- 生産基地ミャンマー第二工場が完成(同国比率約15%へ)、一方中国は75%から52%へ比率減。
- 16年5月決算の売上計画は615億だが若干下方修正の気配。

(以上の記述は本誌前号との大きな変化はありません。)

【8】パル

最近決算年商 1,081億円
同営業利益 81億円

(次期予想) 16年2月
売上 1,195億円
営業利益 8.7億円
店舗数 868店舗
2015年8月

8月上旬は過去最高の出店ペース(64新店、純増35店)
同半期は7.6%の増収だが、出店経費増で減収へ。

- 懸案の子会社「ナイスクラブ」は上場廃止し、完全子会社に。
- ボトムス生産中枢機能として岡山に「倉敷スタイル」稼働開始。
- きめ細かいMD力、人材育成で2018年1,500億円射程に。

【9】パレモ

最近決算年商 319億円
同営業利益 △6.8億円

(次期予想) 16年2月
売上 273億円
営業利益 1.4億円
店舗数 657店舗
2015年8月

8月中間は退店加速も経費減で営業利益は黒字化
雑貨に期待でSCから出店要請も継続。
アパレル、雑貨ともに減収、減益だが粗利益率は54.9%へ改善。

- 期待のライフスタイル雑貨業態「木糸土」などは32店舗へ増強。
- 「直買」体制は確立、今後はSPA化強化、ライフスタイルのコンセプトへ。

【10】アダストリアHD (ポイント)

最近決算年商 1,846億円
同営業利益 59.8億円

(次期予想) 16年2月
売上 1,980億円
営業利益 140億円
店舗数 1,357店舗
2015年8月

合併効果と商品力強化で通期(16/2)も過去最高益確実

- 旧ポイント、トリニティアーツを吸収合併し、(株)アダストリアと改称している。
- 15年2月実績の売上規模はグローバルワーク276億円、ローリーズファーム246億円含む旧ポイントが1195億円、旧トリニティが524億円など。
- 出店は郊外大型SC、都心どれも順調。
- WEB、eコマース関連では会員400万人へ。